

「国際的地域性を活かした英語の壁を乗り越える早期グローバルエンジニア育成プログラム」

～世界へ飛び立つ強い高専マインド醸成のために～

背景
 ★学生の英語力およびコミュニケーション力向上には、学生の英語に対する抵抗感をなくして、積極的に世界へ飛び立つマインド醸成が必要。
 ★学生に英語学習の面白さ・楽しさを体験的に育み、またその必要性を強く認識させることが肝要。

内容
 ①外国人教員による英語授業を活用して、サイエンス英語や実践英語を体験する機会の創出。英検やTOEIC受験を通じた基礎英語力の向上・定着。
 ⇒ 米軍基地を有する国際都市の地元佐世保市を活用 → 基地内アメリカンスクールとの相互交流の実施(模擬海外体験)
 ②近隣外国(韓国, 台湾, 中国)や佐世保市の姉妹都市(米国等)を活用した国際交流プログラムの開発・実施→海外体験学生の増加をはかる。
 ⇒ クロスアポイント制の教員を活用し、海外展開に積極的な学生のクラブを立ち上げ、世界へ飛び立つ強い高専マインドで先導する学生育成。

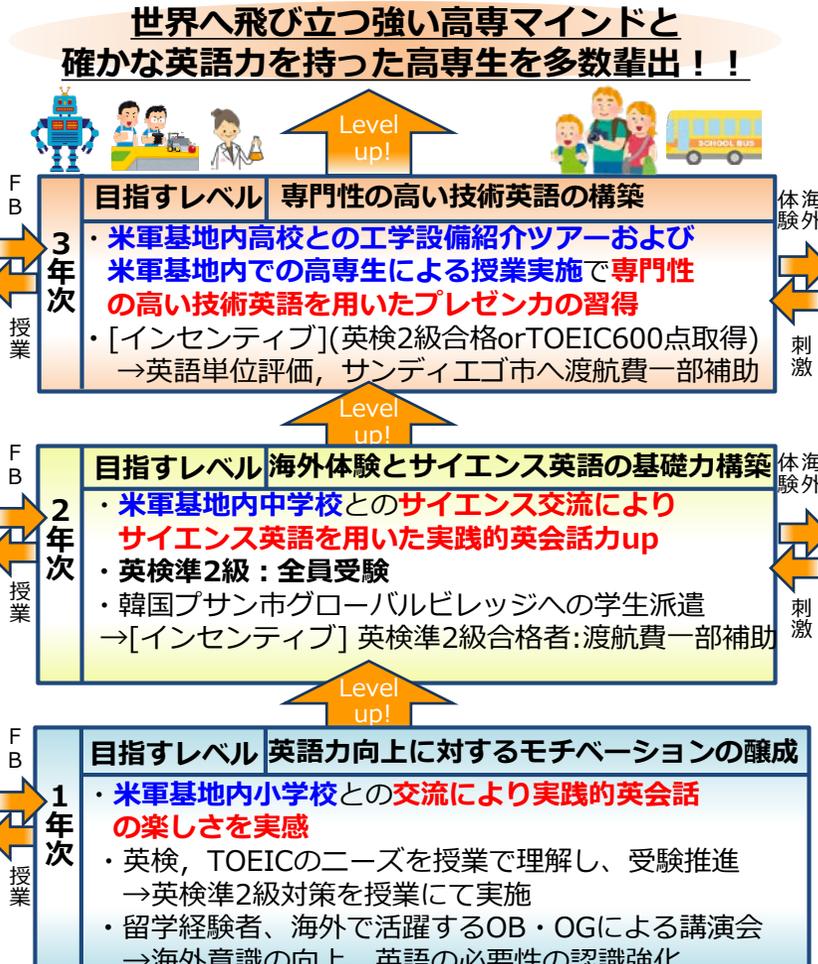
早期グローバルエンジニア育成プログラムの詳細

①外国人教員による英語授業

1~3年次

- 内容: サイエンス英語や実践的英会話→交流や海外体験で使用する英語のフィードバック(FB)
- 授業時間: 倍増(半期→通年)
- 英語Café, 放課後英会話Chat Act Time (CAT)の設置...さらに力をつけるための環境

外国人教員採用
 令5年: 常勤化予定(定年者後任人事対応)
 ※人材豊富な国際都市佐世保の中で、外国人教員を発掘・採用



②国際交流プログラムの開発・実施

3年次

- 佐世保市との姉妹都市米国サンディエゴ市への渡航

2年次

- 韓国プサン市におけるグローバルビレッジへの学生派遣
- ※1 外国人教員の活用
- ※2 「トビタテ! 留学JAPAN」, 「JASSOの事業」, 「さくらサイエンス」のさらなる活用により開拓を並行して進める

クロスアポイント制の教員による海外交流活動クラブの展開・育成
 ・海外渡航研修
 ・海外経験者の講話

成果

成果指標1 英検, TOEIC

2年次 英検	3年次 TOEIC
令5: 準2級(80%) ↑ 令3: 準2級(50%)	令5: 430点 ↑ 令3: 380点

成果指標2 海外体験P参加数

1~3年次	
韓国プサン市 令5: 58名(12%) ↑ 令3: 34名(7%)	米国サンディエゴ市 令5: 4名 ↑ 令3: 2名

成果指標3 教育効果の数値化・可視化

CEFRの評価方法導入外国人教員を活用して、1~3年次の英語力を可視化	3年次A2レベル到達者
	令5: 64名(40%) ↑ 令3: 32名(20%)

申請校独自指標 海外交流活動クラブ

1~3年次	
人員 令3: 60名 ↑ 令1: 20名	海外渡航参加者 令5: 50名 ↑ 令3: 30名